

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10040080

政策目標	4 つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会 計 区 分	4 簡易水道事業会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	17 上・下水道の整備	事 業 優 先 度	A	
単位施策	1 水道の安定供給	政 策 事 務 分 類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	新日の出団地配水管整備事業	見 直 し 年 度		
事業期間	平成25年度～平成26年度	担 当 課	10 建設水道課	
事業主体	雄武町	関 係 課	11 町有施設整備室	
事業指標	配水管布設延長		#N/A	
事業目標	L=430m	ハ-ド/ソ-フ 事業区分	1 ハ-ド事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	無	
住民協働		関係個別計画名		

全 体 計 画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
事 業 内 容		事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容
計 画 内 容	新日の出団地の建替えに伴い、既設配水管が支障となることから、新設道路沿いに布設替えることにより、安定給水を図るため実施するものです。	新日の出団地配水管整備工事 VPφ100mm L= 155m VPφ 75mm L= 115m 布設延長 L= 270m	新日の出団地配水管整備工事 VPφ100mm L= 75m VPφ 75mm L= 85m 布設延長 L= 160m			
	事業費(千円)	27,300	16,000	11,300	0	0
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	27,300	16,000	11,300			
実 績 事 業 費	事業費(千円)	26,428	15,498	10,930	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	26,428	15,498	10,930			
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等) 新日の出団地配水管整備工事 ・布設延長 L= 270m	(実施内容等) 新日の出団地配水管整備工事 ・布設延長 L= 160m	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-終了	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値	270m	160m		
	(継続無し)	年度達成率		97%	#DIV/0!	#DIV/0!
	第6期計画への継続 (継続無し)	全体達成率		97%	97%	97%
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆			

事業名	新日の出団地配水管整備事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	渡邊 孝司
		評価者 作成者 職氏名	水道係長	江田 一夫

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民、水道。	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	配水管整備延長。		
【抱える課題やニーズは】	公営住宅建替及び道路工事による配水管折損事故の多発。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	公営住宅建替計画に合わせた配水管整備による供給確保。		① 整備延長/整備延長実績	目標年度	平成26年度
				目標値	160 m
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	安定供給の確保・強化。	②	実績値	160 m	
			達成度	100.0 %	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	民間業者による配水管整備の実施。	入札により民間業者に発注し、配水管整備を行った。	目標年度	平成26年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度	#DIV/0! %	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	生活用水の安定供給確保のための配水管整備は、町が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	折損事故の未然防止及び配水管設備の延命が図られた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	入札により事業費が軽減されたことは、効率的であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	生活用水の安定供給が維持されたことは、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
配水管整備により折損事故等の未然防止及び配水管設備の延命が図られた。		

今後の展開方向
(Action)

終了		

- ※展開方向の区分
 継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止